

大会要項(抜粋)

1. 参加資格 名古屋市内 公立中学校卓球部員（1年生・2年生のみ）
2. 競技種目 硬式 団体戦
3. 参加人員 各校とも 男女各1チーム 選手8名（補欠2名含む）

※4名以上で編成されないチームは失格とする。

5名編成の場合は1番を、4名編成の場合は1・2番を棄権とする。

4. 大会規定

- ①現行の日本卓球ルールによる。
- ②チーム編成は、男女別に原則6名+補欠2名とする。監督は除く。
- ③ゼッケンを着用のこと。
- ④チームは同じユニホームで試合をすること。競技用服装の主たる色は大会使用球「白」と明らかに違う色でなければならない。（27年9月1日適用開始）
- ⑤使用球は、JTТА公認プラスチック球（男子：TSP、女子：日卓）とする。
- ⑥試合順序S① S② D S③ S④ とし、シングルスとダブルスは兼ねて出場できない。
- ⑦3～4校で予選リーグを行い、各リーグ1位校で決勝トーナメントを行い、優勝、準優勝、3位（2校）を決定する。
- ⑧11本5ゲームスマッチ3点先取とするが、各チーム最初の試合については、勝敗決定後も残り試合を3ゲームスマッチで行う。勝敗決定後のポイントは順位決定に加味しない。
- ⑨予選リーグの組み合わせは、名古屋大谷高等学校において厳正に行う。
- ⑩決勝トーナメントの組み合わせは、リーグ戦終了ごとに、その都度各校の代表者による抽選で決定する。
- ⑪決勝トーナメントの勝敗は、11本5ゲームスマッチ3点先取で決定する。

5. 成績順位の決定

- ①各リーグ戦の順位は、最多勝チームが第1位となり、順次勝ち数の多い順とする。
- ②同一リーグ内で2チーム以上の勝ち数が同じ場合は、その2チーム以上の相互間の対戦成績のみを抜き出し、当該校間の直接対決の結果によって順位を決定する。
一度の「抜き出し」で順位が決定しない場合は、さらにその当該校間の直接対決の結果を抜き出し、その勝敗によって順位を決定する。
- ③上記①・②の計算によって2チームだけが同率になった場合は、その2者間の勝者が上位となる。
- ④上記①・②の計算によっても3チーム以上が同じ勝ち数で並び、それ以上、勝ち数での順位決定が不可能となった場合は、当該校間の得失点から勝率を算出し、勝率の良い順に順位を決定する。
- ⑤上記④の勝率計算において、チームの得失点から算出された勝率が同じだった場合は、該当する直接対決の対戦における個々の試合の得失ゲーム数から勝率を算出する。
さらに、これが同じ場合は、得失ポイント数から勝率を算出する。

6. 参加賞 全参加校に、記念品を贈呈します。

7. 表彰 優勝・準優勝・第3位（2校）の各校に、賞状・賞品を授与します。
※優勝・準優勝・第3位（2校）の各校は、閉会式後、記念写真の撮影を行います。
なお、撮影は選手と引率先生のみとさせていただきます。ご協力をお願いします。

8. 注意事項

- ①必ず顧問の先生が付き添ってください。
- ②体育館（試合用）シューズ以外の、上履きもご持参ください。
- ③十分な駐車場がありませんので、予め本校が『駐車許可証』をお渡しした方以外は、校内への自動車の乗り入れをお断りいたします。
 - ※保護者の方へも、生徒を通じての周知徹底をお願い致します。
 - ※学校周辺の道路は駐車禁止となっておりますのでご注意ください。
 - ※自転車で来場される方は校内の指定場所に駐輪し、必ず施錠をしてください。
- ④大会中の傷害事故に対しては応急処置を行います。その後の治療等については一切責任を負いません。
- ⑤大会当日、愛知県・愛知県西部・尾張東部に「暴風警報」「特別警報」が発令された場合、午前6時までに解除された場合は予定通り実施します。午前6時までに解除されなければ中止とします。
- ⑥試合ごとに各校から1名ずつ審判を出していただきます。試合進行にご協力下さい。
- ⑦食中毒等が警戒される時節のため、引き渡し時間が確定している競技役員の方のみ、昼食を準備致します。生徒引率のみの先生方に関しては昼食の準備がありませんので、ご了承下さい。

9. 大会役員〔敬称略〕

- 大会会長 梶浦 伸祐（名古屋大谷高等学校 校長）
- 競技委員長 清水 城太郎（一柳中）
- 競技委員 可児 幸久（大江中） 市川 拓二（神丘中）
橋本 寿（大森中） 須原 豊（東港中）
望月 督朗（吉根中） 日比野 佑哉（吉根中）
澤田 知範（助光中） 松野 裕充（日比野中）
中山 央久（宝神中） 別府 誠一朗（新郊中）
加藤 裕介（豊国中） 橋本 允至（タシスポーツ）
橋本 明正（タシスポーツ）